

序



福島県教育委員会は「第3次福島県長期総合教育計画」（昭和60年度～70年度）に基づき、「未来をひらく心豊かなたくましい人間」の育成をめざして、教育・文化・スポーツ等の振興と発展に向けて、総合的、計画的に教育行政を展開しております。

昭和61年度には、特に、本県文化三施設の総仕上げとして、県民待望の県立博物館をオープンさせ、また、養護教育の一層の充実を図るために県養護教育センターを開設しました。昭和62年度に入りましても、時代の要請に対応すべく、県立福島南高等学校を開校し、平養護学校には高等部を開設するなど、施設・設備面での充実を図るとともに、教員のより一層の資質の向上をめざす「初任者研修制度の試行」をも実施しております。

このように、本県教育は着実な歩みを続けていると申せます。しかし、近年の科学技術の進歩と経済の発展に伴う急激な社会の変化は、教育のあり方にも大きな影響を及ぼし、教育関係者にとっては、常に状況を正しく把握し、確かな判断に基づいて対応することが強く求められているといわねばなりません。

ここに、昭和61年度の本県教育行政の実績をまとめた「昭和61年度実績教育年報」を発行する運びとなりました。この「教育年報」が、本県教育の現状を理解し、望ましいあり方を考えるための有用な資料として、多くの方々にご活用いただければ幸いです。

昭和62年10月

福島県教育委員会

教育長 佐藤 昌志